

(2) 竹島小学校

学校長 太宰 三和
校内研究代表者 中平 景介

1 研究主題

「自ら学び、思いや考えを伝え合うことのできる子どもの育成」 ～NIE 活動を通して～

2 主題設定の理由

本校は、四万十川の下流に位置し、豊かな自然に恵まれるとともに、学校教育にかかわっても地域のあたたかい支援を受ける等、恵まれた環境にある。子ども達は学年を問わず仲が良く、素直で明るい。全校児童は45名で、6学級編制（4・5年複式学級、特別支援学級1学級）の小規模校である。

昨年度は、研究主題を『自ら学び、思いや考えを伝え合うことのできる子どもの育成～相手意識をもって話す・聞く～』とし、国語科を研究教科とし「話す・聞く」の領域や学習活動を中心に授業改善を進めてきた。本時の目標を達成した児童の具体的な姿をイメージした授業構想を行うことで、本時で身に付けさせたい力を意識した授業づくりを行ってきた。授業以外でも生活朝会の後、教員の話聞いて感想を書く取組なども行ったことで、意識して相手の話を最後まで聞く児童の姿が多く見られるようになった。

さらに、NIE 実践推進校への指定を受け、新聞を活用した授業づくりや取組も進めてきた。新聞記事の紹介や感想の交流を行うことで、意見を交流することの楽しさに気付く児童や、聞き洩らさずに話を聞こうとする児童の姿も見られるようになった。

しかし、言葉による見方・考え方を働かせ自分の考えを書くことや、相手と自分の意見を比べ、考えを広めることや深めることにおいては課題がある。また、新聞を読み取ることやスクラップシートを書く力、記事の内容を要約する力には児童の中でも大きく差がある。

こうした課題をふまえ、今年度は教育目標『たくましく未来を切り拓く児童の育成』のもと、研究主題を『自ら学び、思いや考えを伝え合うことのできる子どもの育成～NIE 教育を通して～』とし、①自ら課題をもち、粘り強く課題解決に向かう児童 ②自らの思いや考えを工夫して書き表している児童 ③互いの考えを伝え合う活動を通して、自分の考えを広めたり、深めたりしている児童 以上3点を目指す児童の姿とし、日々の授業づくりやNIEの活動を通して到達を目指す。

全教員が、目指す児童についての共有を図り、学習意欲を高め、学びの価値や自身の向上を実感することのできる授業づくりを目指し研究を進めることで、児童一人一人の未来を切り拓いていく力につなげていきたい。

3 研究の進め方と方法

(1) 研究仮説

自分の思いを持ち、伝え合う活動を取り入れていく中で、自ら学び、相手意識をもって思いや考えを伝え合う子どもが育ち、物事を多角的・多面的に捉え、自分の考えを明確に持ち、豊かに表現できるようになるだろう。

(2) 研究組織

- 研修部会 学習部会（1年、3年、6年、校長）
- 生活部会（2年、4・5年、あおぞら、養護）

(3) 授業研究

- ・国語科の授業研究（1人年間1回）

4 今年度の取組

(1) 基礎学力をつける取組

- ・学習規律の徹底 ・実践交流（ノート指導、自主学習ノートの充実）
- ・帯タイムの充実（新出漢字の指導の統一、下学年の復習の充実）
- ・自己表現できる場の設定（授業展開・生活朝会・発表朝会・行事後の感想 等）
- ・家庭学習の充実（家庭学習の手引き・学習ノートの相互交流及び評価）
- ・読書活動の充実（読書タイム・各学年の読書目標）

(2) 授業改善

- ・研究テーマ・研究仮説に基づく日々の授業実践 ・教材研究・授業研究の充実（国語科・講師招聘）
- ・授業評価表の活用（教師用も） ・防災教育の推進
- ・外国語活動（ALTの活用・コミュニケーション能力の育成）

(3) NIE 教育

- ・NIE タイム（新聞を見る・読む NIE ノートの作成） ・NIE 放送 ・全校 NIE
- ・NIE の日（家庭学習） ・NIE ルーム ・新聞記者さんの出前授業 ・新聞づくり
- ・はがき新聞づくり
- ・NIE コーナー（「何が入るかな」「一面見比べコーナー」「地域の方の NIE コーナー」）

○新聞を読む習慣化

①NIE タイム

毎週木曜の朝読書の時間と帯タイムの10分間をNIE タイムとし、新聞に触れる時間を確保し、NIE ノートの作成にも全校で取り組んだ。

②NIE の日

毎月20日は全校統一でNIEの課題を出した。クイズコーナーを作る、家族にコメントを書いてもらう等の工夫も見られた。

③NIE 放送 ④全校 NIE・他学年交流 ⑤NIE ルーム

○環境整備

①NIE コーナー ②何が入るかな ④地域の方コーナー ⑤NIE ルーム

○授業の中での活用

①新聞づくり ②はがき新聞づくり ③教科等での活用

○児童の感想

- ・NIE をどんどんやっていると本当に楽しいと思って、来年の1年生にも教えたい。だから来年もNIEがあってほしい。
- ・NIE 放送で話すことが楽しくなって、放送することや感想を言うことが好きになった。
- ・新聞には色んな力がつくと思うのでNIE以外の日にも新聞に目を向けたい。
- ・NIE をすると新聞の世界に入ったように面白かったので、家でもNIEをやってみたいと思った。
- ・新聞にちょっと興味をもてたし、読む力がついたと思う。
- ・NIE をして知識が増えた。知ったことは大人になってもつかえる。

○成果と課題

- 世の中の出来事に関心が向くようになった。
- 自分の思いや考えを表現できるようになった。
- 伝えたいことを明確にした文章を書くことを意識するようになった。
- 学力の向上までには至っていない。
- 個別の差がある。
- 詳細に読み取ることは難しい。

(4) 探究的活動に基づく総合的な学習の時間の実践

- ・ふるさとを語り、ふるさとを誇れる児童の育成

(5) 道徳教育の推進

- ・道徳教育の全体計画及び特別の教科道徳の指導計画の整備並びに計画に基づく確実な実践
- ・道徳参観日の充実 ・「考え、議論する」道徳科の授業実践

(6) 人権教育の推進

- ・体験学習の重視 ・講師招聘（心の教育参観日での講演会） ・「障がい」者理解教育
- ・学級集団づくり、学校集団づくり ・特別支援教育の推進 ・人権参観日
- ・校内支援委員会の充実

(7) 研究授業

教科	日	学年	単元・教材名
国語科	5月29日	3年	「わたし」の説明文を書こう
	6月19日	2年	こんなことをしているよ
	9月18日	4・5年	題名の持つ意味について考えよう/ 物語のおもしろさを解説しよう
	10月9日	1年	なにに見えるかな
	11月21日	6年	発信しよう、私たちのSDGs

○協議から出された『今後の授業づくりで意識していくこと』

- ・相手意識をもたせる単元構成。
- ・既習を活かす構成。
- ・本時の目標を達成できるようなバッドモデル、教科書の提示方法。
- ・指導案の中に具体的な児童の反応例を記入する。
- ・指導案上でどの場面に児童の評価をするのか考えておく。
- ・グッドモデルやバッドモデルの効果的な使い方の検討。
- ・効果的な活動内容の検討。(紙、ICT)
- ・単式でも複式の授業スタイルで取り入れることがあれば実践していく。
- ・本時のねらいからB評価の児童の姿を具体的にイメージする。
- ・単元のゴールや本時のめあてを児童と共通確認しておく。(児童の言葉で)
- ・指導案の本時には発問と予想される反応を記入する。
- ・活動の時間を確保する為のタイムマネジメント。
- ・効果的な視覚支援。



5 今年度の成果 (○) と課題 (●)

- 授業研やNIEの取組など、教員が一丸となって児童の課題に向かい改善策を練って実践に移すことができていた。
- 講師として附属小学校の田中先生に公開授業をして頂いた。複式での授業づくりを見せて頂いたことで、複式での学習の様子を具体的にイメージすることができた。また、新聞を活用した授業でもあり、NIEの新たな取組にもつながる内容であった。
- 複式学級でのリーダー学習に向けての取組を行っている。学校全体で統一した取組を考え、継続していく必要がある。